



# 今日から始めようコマメ生活

## 段ボールコンポストのススメ

「生ごみゼロ大作戦」…あなたも、すてんなな君でごみ減量に挑戦しよう。

市では、ごみを減らし、環境への負荷を軽減するために、家庭から出る生ごみをたい肥化する段ボールコンポスト「すてんなな君」の普及に取り組んでいます。

### レッツ・トライ～すてんなな君

段ボールコンポストは、貝殻や鳥の骨など、硬くて分解しにくいもの以外であれば、野菜くずや魚の骨のほか天ぷら油(廃油)まで、台所から出るほとんどの生ごみの処理ができます。

市では、JA糸島アグリとの全面協力のもと出前講座を行っています。あなたも、すてんなな君で生ごみ減量に挑戦しませんか。

「すてんなな君」は、JAアグリで販売

販売場所 JA糸島アグリ ☎(327)2740  
(糸島市志摩小富士14番地34)

価格 1個 880円

※400円/個を市が補助します。

ただし、補助は1回につき3個までです。

問い合わせ 糸島市生活環境課  
☎(332)2068 FAX(321)1139



### 出前講座実施中

「すてんなな君ってどんなもの」「生ごみを入れたら、おいがするのでは」「本当にごみが減るの」などとお考えのみなさん、出前講座に申し込みませんか。

出前講座で使い方を説明

## 段ボールコンポスト「すてんなな君」体験レポート

6

糸島市在住の「すてんなな君」を実践している人のコメントを紹介しています。

### 作ったたい肥で夏野菜を作る

いえうじ 家宇治 スマ子さん(王丸)

私は以前から「すてんなな君」に興味を持っていました。そんなとき、昨年9月に、友人から声を掛けられ、JAアグリのお藤さんの講習を受け、市役所からごみの減量の話をお聞かせいただく機会がありました。

そこで早速「すてんなな君」に取り組み始め、今では「すてんなな君」を使い、生ごみでたい肥を作ることが日課となっています。

今年4月には、王丸老人クラブで、お藤さんを迎え「すてんなな君」のたい肥を使っての夏野菜の苗の植え方、管理まで細やかに教えてもらいました。

おかげで、有機肥料による土作りがいかにかたいせつかがよく分かり、今から、おいしい野菜ができることを楽しみにしています。



ごみを減らすことでごみ袋が減り、できたたい肥で野菜も育てられ、まさに一石二鳥です。

これからも、地域のみなさんと情報を交換しながら「すてんなな君」を使っていきたいと思っています。



ガレージセールの品物は、ほしい人にとっては「宝の山」

### 循環する資源

市では、イベント時のフリーマーケットなど、施設借上料の減免を行うなど、支援を行っています。みなさんのご協力をお願いします。

物が不足していた時代、先人たちはいろいろな工夫をしながら、物をたいせつに扱い、最後まで使い切っていました。

意識も高まり、再生紙や再生アルミはもちろん、食品トレイやペットボトルの回収などに取り組む事業者も増えています。

今、市で取り組んでいるのが「段ボールコンポスト」。生ごみをたい肥にして、それを家庭菜園などの肥料として再利用しようというものです。ごみが出たら焼却するのではなく、資源として利用し、

### 一人ひとりの力

糸島の自然を守りながら循環させていく工夫は、市民のみなさんができるエコ活動の重要な取り組みなのです。

市民のみなさん一人ひとりが、節電などエネルギーの消費を抑える行動を心がけ、みんなで取り組んでいくことがたいせつです。

地産地消を意識すること、また、ガレージセールや「すてんなな君」などを使ったりサイクルは、現代人にとっての美德かもしれません。

エコライフは、地味な生活ではなく、豊かな生活をするための賢さなのです。

みなさんが、日ごろの生活の中で発揮している工夫や知恵を出し合いながら、みなでエコライフを実践していきましょう。

### 問い合わせ

糸島市生活環境課  
☎(332)2068

## 市民のみなさんの声

市内の各地域で、糸島の自然や環境を守る取り組みをされているみなさんに、ご意見をうかがいました。

### 資源循環型の生活で豊かな自然を次代の子に残したい

北原順子さん(志摩師吉)



よか志摩フォーラムで、地域の自然環境を守る活動をしています。先月は講演会を開催し、各種工口活動をしている団体の発表や紹介のほか、市民との交流などを行いました。糸島は、自然に恵まれ、食べ物もおいしい地域。それだけに、この環境を守りたいものです。みんなが資源循環型の生活に取り組み、糸島の豊かな自然と誇れる地域文化を、次代の子どもたちに残したいと願っています。

### 地域に惚れ込み人に惚れ込むことが地域づくりの基本

宮武久幸さん(二丈福井)



これまで地元で行ってきた、地域活性化の活動の延長として、地元のみなさんと協力しながら、山の植樹に取り組んでいます。「山は海から」「浮嶽の大紅葉を名物に」と始めた活動は、二丈ふるさと森づくり活動として地域みんなで取り組まれています。住み慣れると、地域の宝は見えにくいもの。地域に惚れ込み、人に惚れ込み、自分のできることを実践することが環境を守っていくのです。